

ポンポンドラゴンの修理

2021. 09. 24 ゆきや

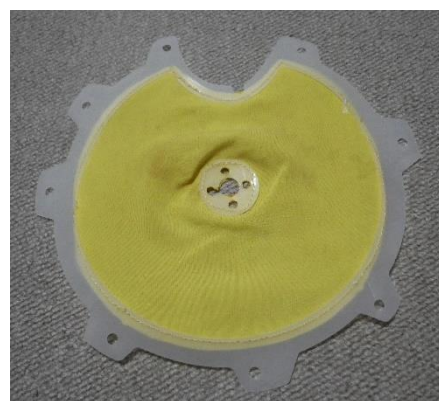


修理が済んで、音楽と共にボールがポンポン跳ねるようになりました。

正式には、フィッシャープライス社の「ポンポンメロディドラゴンさん」という長い名前のおもちゃです。

右の尾のスロープからボールを入れると、黄色の盤面でポンポン跳ねて、左手の穴に飛び込み、口から転がり出てくる訳です。

修理の依頼は、ポンポン跳ねなくなったというものです。見ると、黄色のシートが劣化して、ヨレヨレになっていました。これでは、跳ねないでしょうね。メカは、モーターで駆動するレバーが、このシートを裏から上下させるという単純なものです。



シートの中心をひねって、引っ張りを強くするという方法もあるようですが、伸びがひどくて、うまく行きませんでした。強くひねるとレバーの動きを阻げて、モーターが止まってしまうのです。

結局、シートを張り替えるしかないと考えました。ただこれと同じようなシートが手に入るかどうか？実物を持って、手芸品店を訪ねました。そこで分かった事は、このシートはニットで、手芸品店ではあまり扱わない事。レオタードなどスポーツ用品に使われる、トリコットだろうという事でした。また、扱っているかも知れないという京都の専門店も教えてもらえました。

その専門店「ノムラテラー」のホームページで、これに違いないと思われる生地を見つけ取寄せました。

品名：2WAYトリコット（イエロー）

値段：10cm当り 173円 送料：200円

2WAYとは「縦横どちらにも伸縮する」という事で、実際10cmの生地が15センチまで伸びました。

試行錯誤の結果、引っ張って少し伸ばしながら、枠に縫い付けました。

こんな反り返った形になりましたが、メカに組み込むとシートはピンと張り、ボールをポンポンと跳ね返してくれました。

生地が残りがまだありますので、ひつようになったら、ご連絡下さい。

以上

